

回覧														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより  
 令和2年8月28日 第7号  
 文責 校長 川富 一弘

## 学校再開！！コロナ禍の中での熱中症にも気を付けて…

8月24日月曜日、いつもより短い夏休みが終わり、前期後半が始まりました。このところの35度を上回る猛暑が続く中、朝から少々辛そうな子供達が登校してきました。「おはよう！」とこちらも大き目の声であいさつするのですが、休み前の元気なあいさつが返ってきません。(気持ちは分かります)このコロナ禍でほとんどエアコンの効いた室内で過ごしてきた子供達ですので、徐々に慣れてくるはず・・・と「またがんばろうね」と声を掛けました。幸い教室内はエアコン、扇風機がありますので、なんとかこの暑さも凌ぐことができます。有り難い環境が整っています。

## みんながかがやくエンジョイ運動会に向けて

例年5月開催の運動会ですが、今年は臨時休業が3か月ありましたので、これまで延期していました。数ある学校行事が中止となる中、屋外で行う運動会はなんとか実施しようということで、半日に日程を短めて行うことにしました。さらに、その上で、今年度の学校教育のキーワードである「主体性」を念頭に置き、半日であっても子供達が企画運営に全面的に関わるものにしようと、運動会の名称から考えました。それが標題の「みんながかがやくエンジョイ運動会」です。

運動会の目標はもちろん、日常の運動学習の成果発表ではありますが、学校の取組を保護者や地域に披露するよい機会です。ですが、コロナ感染予防の点から、今回は地域のご来賓へのご案内を遠慮させていただき、学校運営協議会の委員さんと児童の保護者に限定して実施することにしました。

競技種目も子供達に選択させ、文字通りどの子供も楽しめる運動会になるように、夏休みから職員間で話し合いを行い、子供の意見を吸い上げて決定します。練習時間もこれまでのように確保できない状況下ではありますが、職員と子供全員で工夫して、取り組みたいと思います。

当日は10月4日(日)の午前中を予定しています。どんな中身になるのか、時間は昼までに終わるのか、不安もありますが、新しい運動会の形を提案できるのではないかと思います。ご期待ください。

## 長洲小おやじの会の皆様、ありがとうございます

学校再開の前日の8月23日日曜日の朝7時から校庭の除草作業におよそ十数名の「おやじの会」のメンバーに来ていただきました。職員も休業中に可能な範囲でやってはいたものの梅雨明けの晴天であつという間に草が生い茂ってしまい困っていたところに申し出があり有り難くお願いしたところでした。当初は1時間の予定が、倍の2時間ほど作業をしていただきました。有り難い学校応援団の存在に心から感謝です。本当にありがとうございました。



# 自身の可能性は自身で広げる

佐賀の奇跡の漁師、奇跡のピアニストの話です。ご存知の方も多はず。かの有名なリストの難曲「ラ・カンパネラ」を7年間独学で練習し、ついに弾けるようになったのり漁師、徳永義昭さんのことを取り上げようと思います。

この徳永さん、とある番組で世界的に活躍するピアニスト「フジコ・ヘミング」のラ・カンパネラの演奏を見て深い感銘を受け一念発起、そこへ奥様から「絶対、無理」と言われたこともいい刺激となったようで、楽譜も全く読めない徳永さんは、動画投稿サイトを利用して一人独学による練習を始めました。毎日仕事が終わって8時間(右手で2時間、左手で2時間、両手の4時間)の練習を欠かさなかったとのこと。寒い冬の時期は30分ほど手を温めてからピアノに向かったそうです。



<フジコ・ヘミング <http://lasp.co.jp> より引用 >

私事ですが、過去にフジコ・ヘミングの生演奏を聴いたことがあり、今でも時々思い出しては車の中で聴いています。特にお気に入りやはり「ラ・カンパネラ」。確かに徳永さんのように弾けたらいいなと思うものの、実際にやってみようとは到底思いません。端から弾けるはずがないと、自身の可能性に制限をかけてしまっているのですね。これじゃ先には進みません。

ところが徳永さんは違います。いつかフジコさんに聴いてほしい、ただその思いの強さだけで、誰もが予想し得なかった夢を現実にしたのです。結果、徳永さんは日本の番組の計らいで、フジコさんの前でラ・カンパネラを弾くことができ、またフジコさんから賞賛とさらなる演奏指導までいただくことができました。

全校集会がコロナの影響で減ってしまい、子供達へまだ話す機会がないのですが、52歳で目覚めた情熱が、その人の人生をがらりと変えてしまう程の可能性を引き出すことを子供達に伝えたいと思っています。「念ずれば、花開く」という坂村真民さん(詩人)の言葉も同時に思い浮かびますね。「私には無理」と言えばそれまでですが、「私にもできる」「私ならできる」と考えられる子供達を育てなければ、そう思っている今日この頃です。

## 3密から3トルへ

密閉・密接・密集、いわゆる3密を避けることは、コロナ感染予防の第1段階から言われていましたが、この暑い夏から初秋にかけては3トルも意識することが大切です。

3トルとは……、

- ①「人とは2m以上の距離をトル」
- ②「2m以上の距離をとれたらマスクをトル」
- ③「定期的に水分をトル」です。

※手洗い、うがいは当然、これまで通り感染予防の基本です。

